

令和7年度 油川中学校 学校経営グランドデザイン

校訓 自律 敬愛 勤勉

青森市教育委員会の重点事項

- 義務教育9年間を見通した教育課程と指導体制の充実
- 学校・家庭・地域が一体となった教育活動の推進
- 主体的・対話的で深い学びの充実
- 思考力・判断力・表現力を育成するための探求的な学びの推進
- 多様性・包摂性のある教育の推進
- 新時代の特別支援教育の推進
- 夢や志をもち、挑戦する教育活動の推進
- たくましく生きる心と体を育む健康・安全・防災教育の推進
- 教職員であることに誇りをもち資質・能力の向上を図る研修の充実
- ワークライフバランスのとれた魅力ある職場づくりの推進

教育目標
礼節を尊び、夢に向かって勉学に励む生徒

努力目標
【知】目標をもち、進んで学習する生徒
【徳】自ら諸活動に取り組む、共感的な人間関係を築く生徒
【体】健康・安全に関心をもち、節度ある生活を送る生徒

基本方針
○自己存在感の感受 ○共感的な人間関係の育成
○自己決定の場の提供 ○安全・安心な風土の醸成

《目指す学校像》
すべての子どもが安心して登校し、大切にされ、学べる学校

＝成果＝

- ボランティア活動推進
- 学校に行くのが楽しい生徒の割合増加
- 不登校生徒の減少

＝学校課題＝

- ☆自己有用感の育成
- 1 学力向上
授業における居場所づくり
授業改善
・授業改善(わかる授業・できる授業)
- ・知識・技能の定着
- ・思考・判断・表現力の育成
- 2 生徒指導
・不登校対策
- ・校内支援センターの運用
- 3 特別支援教育
・全職員による理解

学びづくり【学習指導部】	心づくり【特別活動指導部】	体づくり【保健安全指導部】
すべての生徒が「わかった」「できた」を実感できる学習指導 ～授業における居場所づくり～	すべての生徒が学習や諸活動を通して、自信と志を育むことができる ～係活動・行事における居場所づくり～	すべての生徒が安心して学校生活に取り組むことができる環境づくり ～心の居場所づくり～
【学習指導】 ○「主体的・対話的で深い学び」を実現させるための授業改善（「必要感」のある課題） ・言語活動の充実 ・「アクティブラーニングの日常化」 ○思考力・判断力・表現力の育成 ・多様な考えを尊重し、「学び」を深めための取組（練り合いの場） ・プレゼンテーション、スピーチ等による発信する力の育成（発表の場） ・「振り返り」の日常実践 ○基礎的・基本的事項の定着 ・「個別最適な学び」の提供（A Iドリル） ・身に付ける場の確保 ・個別指導の工夫 ○ユニバーサルデザインの視点による授業	【特活】 ○課題を認識し、主体的に解決する個人・集団の育成 ○最適解を導き出そうとする話し合い活動 ○プロジェクト型生徒会活動の推進 【道徳】 ○生き方を見つめさせる授業実践 ○価値を見いだし道徳の実践につなげる働きかけ 【総合】 ○主体的な課題発見と解決しようとする態度の育成（プロジェクト型学習の充実） ○最適解を見つけ出し、説得力をもって伝える力の育成 ○社会に貢献しようとする態度	【生徒指導・生徒支援】 ○基本的生活習慣の定着 ○規範意識の醸成 ○日常観察、情報交換による生徒理解 ○いじめ・不登校及び問題高行動の未然防止 早期発見・早期対応 ○不登校生徒への支援 教育支援センターとの連携 ○インクルーシブ教育 【保健・安全】 ○保健・安全に対する判断力の育成（防災、不審者、感染症、交通安全等） ○清掃活動、求職活動の充実 ○地域・保護者を巻き込んだ防災教育 ○安全点検による校内環境の整備
○情報収集・情報活用能力の育成		○情報モラル教育の充実
・見せ合い授業 ・校内授業研修（年2回） ・指導主事の要請訪問 ・校内研修 ・自由参観日 ・研修会の参加 ・乗り入れ授業、学校訪問	・話し合い活動（学級、係活動、委員会、生徒会、部長会） ・トラスト（縦割り）活動 ・ボランティア活動 ・地域行事（獅子踊り、かかし、金魚ねふた） ・校外学習（職場訪問・職業体験） ・体験活動、講演会、ゲストティーチャー	・教育相談の充実（生活アンケート、二者面談、三者面談） ・防災教育の充実（避難訓練、避難所設営訓練） ・安全教育の充実（AED講習、情報モラル教室） ・健康教育の充実（食育、薬物乱用防止教室、熱中症対策、感染症予防等） ・特別支援教育の充実（校内研修）
発達支持的生徒指導（自己肯定感・自己効力感）		課題未然防止教育 課題早期発見対応
自己指導能力の育成を目指した生徒指導・生徒支援の推進（教師は油中生最大のよき理解者）		
安心・安全で心地よい居場所づくり ～すべての生徒に居場所のある学校～		
特認校「Sole」	多様な学びの場の保証	
小中一貫教育	9年間を見通した教育課程の編成及び教育活動の実施	
地域の教育ソース	幼保、高等学校、特別支援学校との連携	
学び続ける教職員集団	地域・家庭との連携の充実	教職員の業務改善
○法令・服務規律の順守 ○指標に基づいた目標設定及び評価の実施 ○当事者意識の共有と共通理解・共通行動 ○実践的、日常的な校内研修 ○校外研修の積極的受講と成果の共有	○保護者とのこまめな情報共有 ○各種通信、まちコミメール、学校ホームページ等による情報発信 ○教育活動の公開（学校行事等）	○職員間の密接なコミュニケーション ○意思決定プロセスの重視（起案制、主任会運営委員会、職員会議） ○ボトムアップ型の提案の推進 ○業務改善及び休暇取得の推進
コミュニティ・スクール機能の活用～「まなびの油川」の醸成		